

## 臨床研究に関する情報公開について

岡山旭東病院では以下の通り、患者さんの診療情報を用いた研究を実施しております。  
インフォームド・コンセントを実施しない場合において、「人を対象とした生命科学・医学系研究に関する指針」に基づき、情報公開いたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また、患者さんのプライバシーの保護については法令等を遵守して研究を行います。ご自身のデータについて、本研究への利用を望まれない場合には、担当責任者にご連絡ください。

西暦 2022 年 2 月 14 日作成

研究課題名	当院におけるパーキンソン病短期入院集中リハビリテーションがもたらす介入効果と今後の課題
研究責任者	診療技術部 リハビリテーション課 藤澤拓馬
研究期間	倫理委員会承認日 ~ 2022 年 3 月 31 日
既存試料・情報の収集期間	2020 年 12 月 1 日 ~ 2021 年 10 月 31 日
研究対象者	2020 年 12 月から 2021 年 10 月までに、当院にて 2 週間の短期入院集中リハビリテーション(6 単位/日)を実施した患者
研究の意義と目的	近年パーキンソン病短期入院集中リハビリテーションの研究報告が増えてきています。しかし現時点では当院でのパーキンソン病短期入院集中リハビリテーションに関する報告は検討されていませんでした。そのため、短期入院集中リハビリテーションを実施した対象者の運動症状・非運動症状への介入効果を検討し、作業療法士の関わり方を考察しました。
研究の方法	2020 年 12 月から 2021 年 10 月の間に当院において 2 週間の短期入院集中リハビリテーション(6 単位/日)を実施した方を対象に診療情報を用いた観察研究です。
提供する試料・情報	性別、年齢、在院日数、パーキンソン病の重症度分類(Hoehn & Yahr 重症度分類)、パーキンソン病の運動症状と非運動症状の臨床評価法の一つである MDS-UPDRS の点数、機能的自立度評価法(FIM)を用いた日常生活の運動と認知に関する項目の点数を使用します。
個人情報の保護	個人情報は削除し、匿名化(どのデータが誰のものか分からなくすること)して、個人情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後 5 年間、岡山旭東病院リハビリテーション課で保存し、電子情報はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他紙媒体の情報は施錠可能な保管庫で保管します。
試料・情報の利用の停止について	患者さんまたはその代理人のご希望により、患者さんが識別される試料・情報の提とも利用を停止することができます。試料・情報の提供の停止を希望される方は下記の問い合わせ先までお申し出ください。
問い合わせ先	公益財団法人 操風会 岡山旭東病院 情報提供責任者: 診療技術部 リハビリテーション課 藤澤拓馬 連絡先(電話番号) 086-276-3231(平日: 9 時~17 時)